

授業科目

老人福祉論I

担当教員名 松山 茂樹	対象学年	1	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	○

授業の概要

高齢者の生活課題を多方面から検討すると共に、高齢者福祉の理念と諸制度等について理解する。
(介護福祉コース選択者は、人間の成長と発達の基礎的理解を基礎として、老年期の発達と成熟、老化に伴うこころとからだの変化と日常生活の過ごし方を学び、介護支援に活かせるような力をつける)

授業の目的

高齢者及び高齢者福祉に関する専門的知識を身に付ける。

学習目標

1. 高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉・介護需要、高齢者虐待の対応等について理解する。
2. 介護の概念や対象及びその理念等について理解する。
3. 介護過程における介護の技法や介護予防の基本的考え方について理解する。
4. 終末期ケアの在り方（人間観や倫理を含む）について理解する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	担当教員
1	高齢社会の現状と動向	松山 茂樹
2	高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢	松山 茂樹
3	高齢者の福祉需要	松山 茂樹
4	高齢者の介護需要	松山 茂樹
5	介護の概念と範囲及び対象	松山 茂樹
6	介護予防の必要性と介護予防プラン	松山 茂樹
7	介護過程の概要と技法	松山 茂樹
8	高齢者虐待の概要	松山 茂樹
9	高齢者虐待の対応	松山 茂樹
10	認知症ケアの基本的考え方	松山 茂樹
11	認知症ケアの実際	松山 茂樹
12	終末期ケアの基本的考え方	松山 茂樹
13	終末期ケアにおける人間観と倫理	松山 茂樹
14	終末期ケアの実際	松山 茂樹
15	介護のための住環境等	松山 茂樹

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	新・社会福祉士養成講座13 高齢者に対する支援と介護保険制度	福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版		2,600円+税	
参考書						
その他の資料						

評価方法

複数回のレポートに基づいて評価する。

履修上の留意点

後期に開講する老人福祉論IIと連続する科目であること

オフィスアワー・連絡先

松山研究室（E棟313）
毎週水曜日15時以降
E-mail: matuyama@nuhw.ac.jp